戦争法案 成立阻止へ あらゆる手段をつくす

7野党・会派党首会談

国民の声に応え結束した対応を

志位委員長が強調

戦争法案をめぐって、共産、民主、維新、社民、生活、元気、参院会派「無所属クラブ」の野党7党・会派の党首会談が11日、国会内で開かれ、国民の声に応えて、野党が一致結束して、「安保法案」＝戦争法案阻止のために、あらゆる手段をつくして頑張りぬくことを確認しました。

野党7党・会派の党首会談。左から3人目は志位和夫委員長＝11日、国会内

党首会談ではつぎの3点を合意しました。

1点目は、16日の参院安保法制特別委員会での採決を与党幹部が公言していることに関して「論外であり断じて認められない」と確認したうえで、①特別委員会での地方公聴会開催と2回目の参考人質疑の実施②これを受けた審議の継続③河野克俊統合幕僚長の国会招致―の3点を要求していくことです。

2点目は、安保法案の強引な採決に断固として反対し、成立を阻止するためにあらゆる手段を講じ結束して対応していくことです。「あらゆる手段」のなかには内閣不信任案、参院での問責決議案の提起などが含まれています。状況を見極め、必要に応じて今後も党首会談を開いて対応を協議していくことを確認しました。

3点目は、野党の全議員の認識を一致させ、成立阻止を図るために、党首会談の確認をふまえて7野党・会派の「合同集会」を週明けの適切な時期に開くことです。

会談後、日本共産党の志位和夫委員長は記者団に対し、「参院（で審議する）段階に入って、党首会談は2度目です。一歩一歩、結束の強化が確認されているのは重要です。国民の6割以上が今国会成立反対といっています。国民の声に応えた野党の結束が本当に大事です。戦争法案阻止のために頑張りぬきたい」と表明しました。

水害対策でも確認

党首会談では、関東と東北地方で発生した豪雨災害の被災者へのお見舞いとともに、政府に対して人命最優先で万全な対応を行うこと、国会としてもしっかりとした対応をとるために衆院予算委員会での集中審議を求めていくことが、あわせて確認されました。

統幕長発言 首相を追及

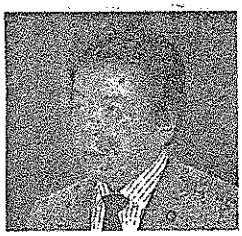
仁比氏が国会招致求める

参院安保特

日本共産党の仁比聡平議員は11日の参院安保法制特別委員会で、河野克俊統合幕僚長が10日の配者会見で昨年末に訪米した際の米軍幹部との会談を記録した内部文書について「同じ題名のものは存在した」と認めたことをあげ、会談の中身をただすため、同氏の国会招致をあらためて求めました。

↓関連②面

内部文書は、仁比氏が2日の同特別委で暴露。戦争法案の閣議決定（5月）のはるか前に、河野氏が米軍幹部に成立時期を「来年夏までに」と伝達するなど、自衛隊の暴走と対米従属の実態を示しています。防衛省は「同一のものはなかった」として内部文書の国会提出を拒んでいます。



質問する仁比聡平議員＝11日、参院安保法制特委

仁比氏は「問題は、統幕長が米側とどんなやりとりをしてきたのか、その中身だ」と指摘。河野氏が米軍幹部との会談のなかで、垂直離着陸機オスプレイの強行配備について「不安全性をあおるのは一部の活動家だけ」と事実をねじ曲げて発言していたことをあげ、「首相が自ら確かめるべきだ」とただしました。

安倍晋三首相は「防衛大臣がすでに統合幕僚長から直接聴取し、オスプレイの安全性に対する地元の不安にかかる認識についても不適切な点はなかったと判断している」と答弁しました。しかし、仁比氏がオスプレイの佐賀空港への配備に対する地元の認識についてただすと、首相は「現時点で、地元の了解は得られていないと認識している」と答えざるをえませんでした。仁比氏は「民意に背を向ける統幕長の発言は言語道断だ」と厳しく批判しました。

また仁比氏は、オスプレイの広域整備拠点（リージョナル・デポ）の日本設置を「検討対象」と発言した問題を取り上げ、運用面に加え整備面の「日米一体化」まで〝軍軍〟間の暴走で進められようとしていると批判しました。

9/12 主張

戦争法案許すな！国会正門前で抗議の座り込みをする人たち＝11日、東京都千代田区